

# 指定管理者制度導入施設の第三者評価結果【対象年度：平成24年度】

## 1 評価対象施設

施設名	長野県男女共同参画センター(あいとぴあ)	所管部・課	企画部 人権・男女共同参画課
指定管理者	(株)東急コミュニティー	指定期間	平成24年4月1日 ～ 平成29年3月31日(5年間)

## 2 評価者(敬称略,五十音順)

評価者名	役職等	備考
小口 道生	岡谷市総務部長	(地元市町村関係者)
重 千富	長野県男女共同参画推進県民会議会長	(選定委員会外部委員)
篠田 幸永	社会保険労務士	(専門家)
登内 豊明	公認会計士	(専門家)
浜 美恵子	親子リトミック「虹の子」主宰	(利用者)

## 3 評価の実施状況

年月日	場所	内容
平成25年11月15日	男女共同参画センター・あいとぴあ (岡谷市長地権現町4-11-51)	平成24年度の管理運営状況及び県のモニタリング状況について

## 4 評価結果

項 目	指摘・意見等	左記への対応方針
施設の目的に沿った管理運営	・指定管理者においては施設の目的に沿った管理運営に努力していることが窺われ、施設所管課も適切な指示・指導等がされており、そのことが結果として現われている。今後も指定管理の更なる効果がでるよう期待する。 ・協定書、仕様書に基づいて運営されている。	・施設の目的に沿って更なる効果的な運営となるよう努めます。(指定管理者)
平等な利用の確保	・公の施設として、先着順の受付、ホームページでの休館日の告知など、平等な利用が確保されていると認められる。 ・概ね平等な利用が確保されている。利用回数が多い利用者に関する優遇(利用料割引等)が、平等利用の観点からどうかという点はあるが、利用促進のためにはやむを得ないと思う。	・施設の利用促進策との均衡を図りながら、引き続き利用者に対する平等な施設利用が確保されるよう確認していきます。(県)
利用者サービス向上の取組	・利用者サービスの向上に向けての工夫が見られることから、更なる利用者の増加に対して努力をお願いしたい。 ・今後も利用者の声を把握し、迅速な対応に努めてもらいたい。施設所管課も利用者アンケートの内容を実際に確認する等、指定管理者による取組を具体的に検証するよう努めてもらいたい。 ・サービス券はともありがたい。ホール使用の際、前日からの準備も快く対応してもらっているなど、職員は親切で気持ちよく利用できている。 ・館内施設が多種であり、様々な機会を通じて、もっと施設のPRをして、広く多くの人に理解してもらえるとよい。	・引き続き、利用者アンケート等による利用者の声を十分把握し、速やかに対応していきます。(指定管理者) ・また、より多くの県民に施設を知ってもらい、利用者の増を図られるように様々なメディアを通じた積極的な広報を行っていくとともに、ホームページを一層充実させていきます。(指定管理者) ・県としても、利用者アンケートの内容を実際に確認し、指定管理者とともに利用者へのサービスの向上を図っていきます。(県)
自主事業	・施設所管課との事業の連携もできており、成果も上がっていることから、今後も一層の事業推進に向けて新たな発想の自主事業に期待する。 ・多種多様な講座を設ける等、積極的に取り組んでいる。自主事業の目的は「採算ではなく、施設利用者増につなげる」とのこと、その目的はよいと思うが、採算も取れるような事業も可能か否かも含めて検討してもらいたい。 ・施設の目的に寄り添うことは大変だが、新規利用者の獲得にもつながるので、より良いアイデアをもって実施してほしい。	・引き続き、多くの県民に興味や関心を持ってもらえる自主事業を計画し、実施していきます。今後採算のとれる自主事業としての観点から、事業の内容を工夫していきます。(指定管理者)
職員・管理体制	・効果的・効率的な人員配置に努力し、成果も見られるが、当サービスはマンパワーに負うところが多いことから、充分な配慮の中で適切な管理体制を維持してほしい。 ・十分な資料で確認ができなかったが、労働・社会保険の適正な適用等、今後も法令順守に努めてもらいたい。労働者に対して、適正な労務管理を行うこと及び雇用契約を締結することが、労働者のモラルやモチベーションを高め、それが県民サービスの向上につながるということを今後も肝に銘じていただければと思う。また、施設所管課においても、法令遵守の観点からチェックを行っていただきたい。	・労働・社会保険の適正な適用については、今後も法令遵守に努めていきます。(県、指定管理者) ・より効率的な人員配置に努めながら、職員の労働環境に十分配慮した勤務体制としていきます。(指定管理者)
収支状況	・指定管理者における収支改善の努力が見られたので、引き続き前向きな取組により継続的で安定的な経営を望む。 ・黒字計上自体は大変結構なことだと思うが、人件費や管理費等に関して、必要最低限の費用までを削減するようなことがないよう心がけていただきたい。 ・電気代等、コスト削減のための努力がわかった。現状維持ができるように努めてほしい。	・適正な人件費や管理費等の必要経費を確保しながら、利用者のサービスの質の向上、安定的な経営といった観点を重視し、今後も収支が黒字となるよう、効率的な運営に努めていきます。(指定管理者)
総合評価	・施設所管課においては、指定管理者の管理運営等の状況を充分に把握し、適切な指導等を実施している中で、モニタリング評価も各項目を通じて適正であると思う。 ・施設自体の老朽化が進む中で、管理だけでは解決できない問題があると思うので、指定管理者と施設管理課が状況や問題点を確認しあい、より本来の目的を達成できる施設となることを希望する。現時点では、双方が情報共有する中で、利用率向上に努めてほしい。 ・県の職員も常駐しており、適正に実施できていると思う。	・男女共同参画センターの本来の目的の達成や利用率の向上を図るため、指定管理者から提出される事業計画書等の報告書を確認するだけでなく、利用者アンケートを実際に確認したり、定期的に指定管理者と打合せを実施するなど、適正なモニタリングの実施に努めていきます。(県)